

I 現計画期間(R1~R5)の主なトピックス

年度	学校教育	社会教育・家庭教育	国等の動き
R1	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数学級(35人学級)を小中学校の全学年で実施 ・県立盛岡ひがし支援学校開校(H31.4) ・県立高田高校グラウンドの復旧をもって公立学校の災害復旧完了(R2.3) ・「いわてキャリア教育指針」改訂(R2.3) 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育振興運動55周年 	
R2	<ul style="list-style-type: none"> ・高校の魅力化の取組開始(R4~全県展開) ・岩手県学校教育ICT推進協議会設置(R2.11) ・有識者会議提言「いわての中学生のスポーツ・文化活動のこれから」(R3.3) 	<ul style="list-style-type: none"> ・岩手県立博物館開館40周年 ・県立高校にコミュニティ・スクール導入開始 ・「漆掻き技術」を含む「伝統建築工匠の技」ユネスコの無形文化遺産登録(R2.12) ・「岩手県文化財保存活用大綱」策定(R3.3) 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい学習指導要領の順次全面実施(R2:小、R3:中、R4~:高) ・中教審答申『「令和の日本型学校教育」の構築を目指して』(R3.1)
R3	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動の地域移行に向けた実証研究開始 ・県立学校における遠隔授業の実証事業開始 ・いわての復興教育を就学前教育に拡充 ・「新たな県立高等学校再編計画後期計画」策定(R3.5) ・「岩手県立特別支援学校整備計画」策定(R3.5) ・「いわての高校魅力化グランドデザイン for 2031」策定(R3.10) 	<ul style="list-style-type: none"> ・岩手県立美術館開館20周年 ・県立野外活動センター移転復旧(R3.7) ・「北海道・北東北の縄文遺跡群」世界遺産登録(R3.7) ・県立平泉世界遺産ガイドンスセンター開所(R3.11) ・陸前高田市立博物館の復旧をもって公立社会教育施設等の災害復旧完了(R3.10) 	
R4	<ul style="list-style-type: none"> ・各県立高校においてスクール・ポリシー策定 ・いわて幼児教育センター開所(R4.4) ・県立釜石祥雲支援学校新校舎移転(R4.8) 	<ul style="list-style-type: none"> ・県立図書館創立100周年 ・「風流踊」ユネスコの無形文化遺産登録(R4.11) 	<ul style="list-style-type: none"> ・免許更新制の発展的解消 ・生徒指導提要改訂(R4.12) ・中教審答申『「令和の日本型学校教育」を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について』(R4.12)
R5			<ul style="list-style-type: none"> ・第4次教育振興基本計画策定(R5.6)

本県児童生徒の様々な分野での活躍／本県出身者の世界全国での活躍

GIGAスクール構想の加速(ICT機器の整備)

熱中症／新型コロナウイルス対策としてのエアコン整備

新型コロナウイルス感染症拡大防止と教育活動の両立のための取組の推進

II 新型コロナウイルス感染症の影響

1 新型コロナウイルス感染症の感染状況

(1) 感染者数

区分	感染者数
全国(R5.5.8 0時時点)※1	33,802,739人
岩手県(R5.5.8発表)※2	238,087人
うち公立学校児童生徒※3	43,284人
うち公立学校教職員等※3	3,750人

(2) 臨時休業措置等実施数※3

クラスター発生件数	237件
臨時休業措置等実施数	
臨時休業	184校(238回)
学年閉鎖	246校(365回)
学級閉鎖	235校(718回)

※1 出典：新型コロナウイルス感染症の現在の状況について（令和5年5月8日版）

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_32969.html

※2 新型コロナウイルス感染症患者に関する情報（令和5年4月1日～5月7日発表分）

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyo/iryou/covid19/1050899/1061820.html>

※3 R5.5.8発表時点まで 岩手県教育委員会事務局調べ

2 新型コロナウイルス感染症への対応

(1) 対策本部の設置

- ・ R2.2.18 岩手県教育委員会新型コロナウイルス対策本部設置(R5.5.8廃止まで本部員会議を72回開催)
- ・ 県教委独自の支援体制の強化：学校支援(R4.1.29～)、盛岡市保健所支援(R4.2.15～)

(2) 臨時休業等

時期	県立学校	県立社会教育施設
令和2年3月 国からの要請等	令和2年3月2日～春季休業に入るまでの間 ・基本的に一斉休業	令和2年3月3日～3月31日 ・学校の一斉臨時休業を踏まえ、青少年の家の利用者受入を休止 (・図書館、博物館、美術館はイベントの中止・延期等)
令和2年大型連休 (ゴールデンウィーク)期間 国の緊急事態宣言等	令和2年4月29日～5月6日 ・児童生徒等の健康を確保しつつ、教育活動に与える影響を最小限にとどめ、大型連休期間中における人の移動を最小限にすることによる地域全体での感染防止を図る観点で、基本的に臨時休業	令和2年4月25日～5月6日 ・博物館、美術館及び青少年の家は、休館・休所 ・図書館は、開館継続(カウンターでの図書の貸出、返却のみ)
令和3年8～9月 新型コロナウイルス感染症「岩手緊急事態宣言」	(・夏季休業中の部活動を原則休止)	令和3年8月16日～9月17日(青少年の家、野外活動センターは9月20日まで) ・博物館、美術館、青少年の家及び野外活動センターは休館・休所 ・図書館は、開館継続(カウンターでの図書の貸出、返却のみ)

II 新型コロナウイルス感染症の影響

2 新型コロナウイルス感染症への対応

(2) 感染拡大防止対策

R3.12版

学校現場における新型コロナウイルス感染症対策等について

岩手県教育委員会

基本的な考え方

- ・ 岩手県教育委員会においては、新型コロナウイルス感染症の発生及びその感染拡大を可能な限り抑制し、児童生徒の健康、安全の確保を図ること及び教育活動に与える影響を最小限にとどめるため、以下に掲げる様々な対策や対応に取り組んでいます。
- ・ 教育活動を進めるに当たっては、新学習指導要領のポイントである、生きて働く「知識及び技能」、未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力等」、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性等」の3つの資質・能力を育成します。
- ・ 東日本大震災津波で学んだ教訓を踏まえた「いわての復興教育」の考えを生かしながら、新型コロナウイルス感染症というこれまでに経験したことのない状況にも対応した取組を進めています。
- ・ 引き続き、児童生徒・保護者の理解と協力をいただきながら、新型コロナウイルス感染症対策等を実施し、児童生徒の健康、安全が守られるよう取り組んでいきます。

「学校の新しい生活様式」に対応した取組状況等

○ 1～3の対策や対応は、各学校の実情に応じ、工夫して行われています。変異株の対策としても、基本的な感染症対策を徹底していきます。

1 感染拡大防止対策

(1) 基本的事項

- ・ 咳エチケット(常時マスクの着用等)や手洗いなどの感染症予防対策について、児童生徒への徹底した指導
- ・ 学校における児童生徒の丁寧な健康観察

(2) 通学時

- ・ 家庭と連携した体温測定や風邪症状等の確認
- ・ 特別支援学校における「3つの密」対策を講じた通学用バスの運行

(3) 授業時

- ・ 教室内の座席間隔をあげ、児童生徒同士の距離の確保
- ・ 対面を避けた机の配置
- ・ 式典や全校集会活動を控え、校内放送の活用や時間の短縮
- ・ 冬季でも可能な限り常時換気(難しい場合は30分に1回以上、少なくとも休み時間ごと換気)
- ・ 常時換気と組み合わせた常時エアコン等による送風
- ・ 近距離での活動や向かい合っでの発声等が必要な授業等における指導計画や指導方法の見直し
- ・ 教材や教具を共有で使用する場合の使用前後の手洗いの徹底

(4) 給食時

- ・ 給食時はグループ形態にせず、一定の机の間隔を保持した状態での食事、飛沫を飛ばさないような席の配置
- ・ 給食時の会話は回避、食後の教談時のマスクの着用
- ・ 特別支援学校における学部ごとに分けた時差給食

(5) 休み時間


- ・ トイレ休憩の混雑の緩和

(6) 環境整備

- ・ ドアノブ、階段の手すりなど多数の児童生徒が触れる場所(箇所)の水拭きと消毒

(7) その他

- ・ ホームページや一斉送信メールを活用する等、児童生徒及び保護者への連絡体制の確立
- ・ 不特定多数との接触を低減するための校外活動の見学先・宿泊・食事場所等の変更
- ・ 各種学校行事の開催時の工夫
- ・ 寮においても、対面を避けるなどの食事時の座席配置など感染防止の徹底




2 部活動における対応

(1) 基本的事項

- ・ 生徒本人及び保護者の意向の尊重と強制しない部活動参加
- ・ 参加生徒の健康状態の把握と体調管理の徹底
- ・ 教師や部活動指導員が部活動実施状況を把握
- ・ 統括団体(全国連盟・協会等)が作成するガイドラインを踏まえた部活動の実施

(2) 活動に当たっての留意事項

- ・ 活動場所のこまめな換気や消毒等の感染拡大防止のための措置
- ・ 更衣室や部室の短時間の利用
- ・ 生徒の体調等を考慮し活動時間や休業日を適切に設定
- ・ 感染リスクの低減に配慮した、より短時間で効果的な活動
- ・ 地域の感染状況や競技特性等を踏まえ適切に判断し、十分な感染防止対策を講じた実施
- ・ 「県外へ移動しての活動」及び「県外の学校との活動」については、事前に遠征先の感染状況等を確認し、慎重に判断
- ・ 大会への参加は、感染状況等を考慮し必要性を各学校で判断、生徒の健康状態を把握し、事前保護者の同意の徹底
- ・ 部活動前後での集団での飲食を控えるなど、活動以外の場面も含めた感染防止対策の徹底



3 偏見や差別の防止

- ・ 「特別の教科(道徳)」をはじめとして、あらゆる教育活動において、機会を捉えて「いじめ」について考え話し合うことで、いじめの防止に向けた意識の啓発
- ・ 日頃からいじめを許さない学校の風土をつくるとともに、新型コロナウイルスの感染等による偏見や差別に限らず、すべてのいじめに対して「人間として絶対に許されない」という意識を一人ひとりの児童生徒に徹底
- ・ 細やかな観察や面談の実施等、児童生徒の発する小さなサインを見逃さないよう日頃から児童生徒の理解を徹底
- ・ いじめの可能性を察知した場合には、被害児童生徒の立場に寄り添い、迅速かつ丁寧に対応
- ・ 加害児童生徒に対しては毅然とした姿勢で対応
- ・ インターネットやSNSにおける悪ふざけや、誹謗中傷等を行わないよう、保護者への啓発も含め、繰り返し指導
- ・ スクールカウンセラー等と連携を図りながら、きめ細かな対応や心のサポート

震災の教訓を生かす

「いわての復興教育」を生かした取組

復興教育のねらいとの関連

東日本大震災津波で学んだ教訓を学校教育の中に生かし、その復興・発展を支える人材を育成するための3つの教育的価値【**いきる・かかわる・そなえる**】を育てること。

- ・ 新型コロナウイルス感染症について、知識・理解を深める。
- ・ 感染しないための考え方、適切な行動についての判断力、実践力を身に付ける。
- ・ 学校・家庭・地域が互いに知恵や力を出し合い、協力して困難を乗り越えてきたところであり、今後も同様に取り組んでいく。

○ 臨時休業に備えた学びの保障

- ・ 県立学校における学習グループウェア等を活用した学習支援
- ・ 全県立学校で無線LAN環境を活用し、日常のショートホームルームや授業において準備
- ・ 県立高校における1人1台端末の環境の整備、家庭学習にも活用

3

Ⅲ 学校教育

GIGAスクール構想の加速

・コロナ禍における学びの保障等を目的に、学校等におけるICT環境整備は飛躍的に進展

県内公立学校ICT機器整備状況※1	R2. 3. 1	R4. 3. 1
PC1台当たりの児童生徒数	4.6人	0.9人
普通教室の無線LAN整備率	28.5%	92.6%
普通教室の大型提示装置整備率	27.1%	58.3%

・ICT環境の利活用については、全国と比較して低い状況

ICT活用状況	岩手県	全国
教員のICT活用指導力 (R3)※1	69.0%	75.3%
1人1台端末の授業での活用状況(ほぼ毎日)(R4) ※2	小	55.4%
	中	53.6%

※1 学校における教育の情報化の実態等に関する調査(文部科学省)

※2 全国学力・学習状況調査(文部科学省)

体験活動等の減少の影響

・新型コロナウイルス感染症の影響による体験活動等が減少による様々な影響が懸念

様々な文化芸術に触れ、文化芸術に興味をわいたと感じている児童生徒の割合 【具体的推進方策指標】	現状値 (H30)	R1	R2	R3
小学生	70%	72%	72%	69%
中学生	71%	71%	68%	65%
高校生	79%	77%	-	68%

体力・運動能力が標準以上の児童生徒の割合 【いわて幸福関連指標】	現状値 (H29)	R1	R2	R3
小学生 男子	73.6%	73.1%	-	68.9%
小学生 女子	82.9%	82.2%	-	79.1%
中学生 男子	77.7%	75.7%	-	74.8%
中学生 女子	91.3%	90.0%	-	88.8%

不登校児童生徒数等の増加

・いじめの認知件数、不登校児童生徒数は増加傾向

1,000人当たりのいじめの認知件数※3	R1	R2	R3
岩手県	64.1件	66.8件	67.4件
全国	46.5件	39.7件	47.7件

1,000人当たりの不登校児童生徒数※3	R1	R2	R3
小学校	5.5人(8.3人)	6.2人(10.0人)	8.4人(13.0人)
中学校	30.7人(39.4人)	33.2人(40.9人)	39.6人(50.0人)
高等学校	15.9人(15.8人)	16.6人(13.9人)	19.8人(16.9人)

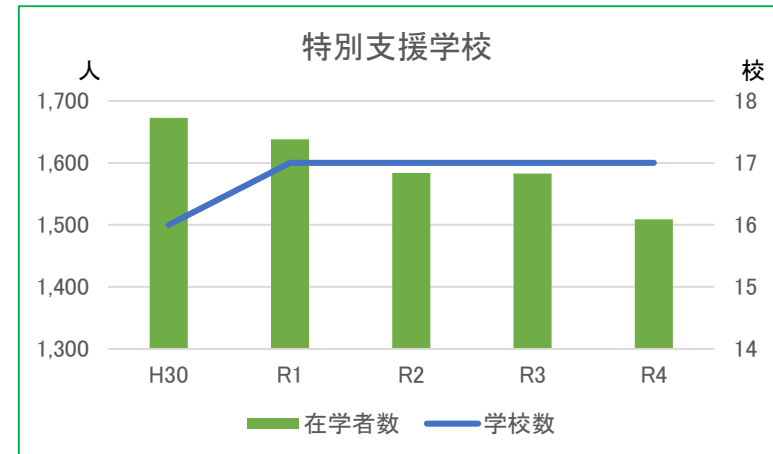
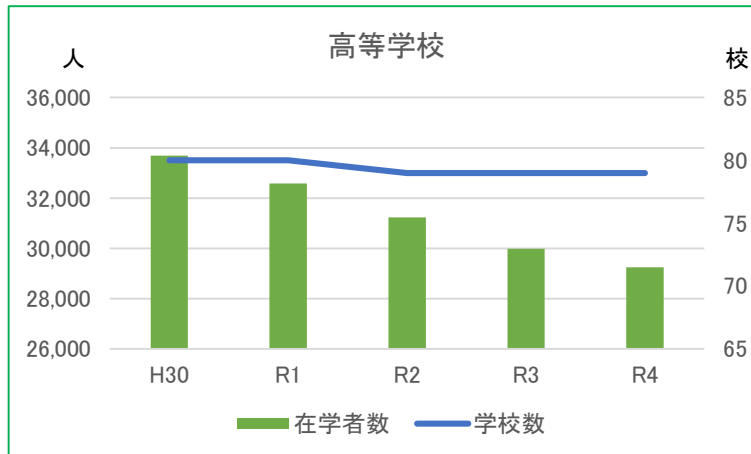
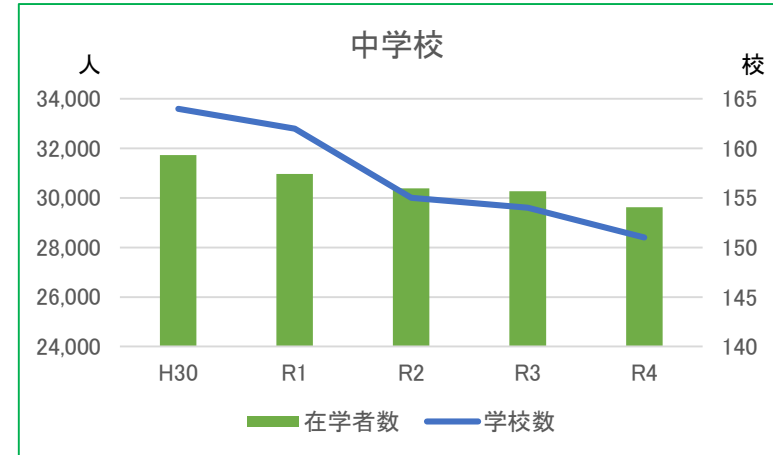
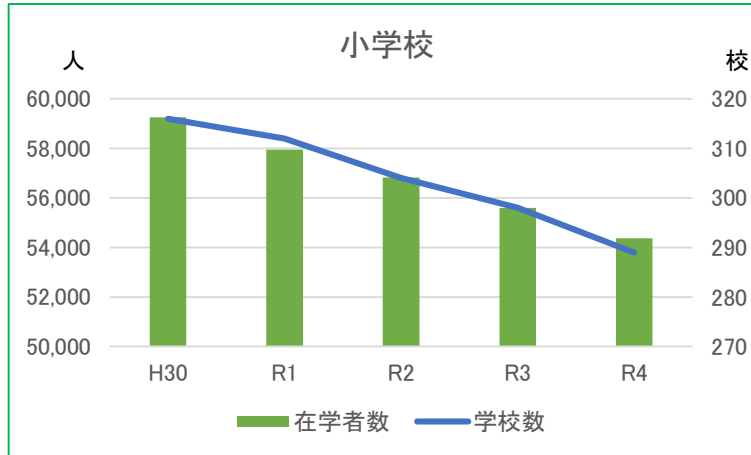
※3 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査(文部科学省)

() 内は全国

Ⅲ 学校教育

児童生徒数の減少

- ・急速に進行する少子化の中で、本県の児童生徒数も減少傾向
- ・児童生徒数の減少に伴う教職員数の減少、学校が小規模校化する中での教育の質の確保が課題

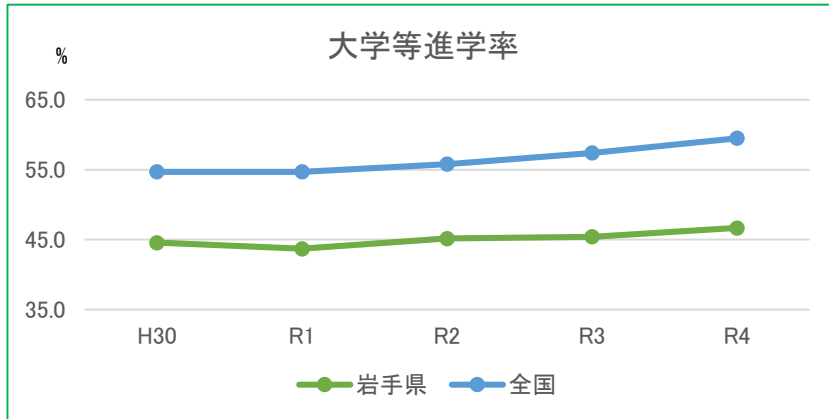


※ 学校基本統計（学校基本調査報告書）（岩手県ふるさと振興部調査統計課）
義務教育学校は除く。

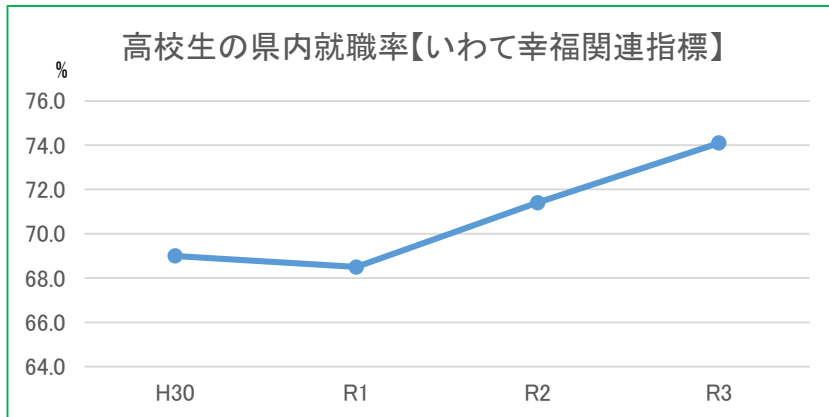
Ⅲ 学校教育

大学等進学と県内就職

- ・本県の大学等進学率は上昇しているものの、全国の大学等進学率と比較して低い状況
- ・県内高校生の県内就職率は、県内企業への理解促進や新型コロナウイルス感染症の影響による地元志向の高まりを背景に上昇傾向



※ 学校基本調査 (文部科学省)



教職員の働き方改革と資質向上

- ・「岩手県教職員働き方改革プラン(2021～2023)」に基づく取組

時間外在校等時間	R2	R3	R4
月100時間以上の県立学校教員の割合	0.2%	0.2%	0.1%
月45時間超※	9.7%	8.3%	9.7%
年360時間超※	28.6%	22.8%	-

※ R4は第3四半期まで
週休日の部活動指導従事時間を除く。岩手県教育委員会事務局教職員課調べ

- ・全国的に教職を志す学生の減少が課題であり、本県も同様

公立学校教員採用選考 採用倍率	R1 (H30 実施)	R2 (R1 実施)	R3 (R2 実施)	R4 (R3 実施)
小学校	2.9(2.8)	2.7(2.7)	2.3(2.6)	2.7(2.5)
中学校	4.4(5.7)	3.8(5.1)	3.7(4.4)	4.1(4.7)
高等学校	8.3(6.9)	8.2(6.1)	8.1(6.6)	6.6(5.4)

※ ()内は全国。公立学校教員採用選考試験の実施状況調査 (文部科学省)

- ・免許更新制の発展的な解消に伴い、「校長及び教員の資質の向上に関する指標」を整理(R5.3)

本県独自の「授業力向上研修」※の理念を継承し、学び続ける教師として教員が主体的に自らの資質向上を図る「ステージアップ研修」等研修体系を整理(R5～)

※ H21.4.1に教員免許更新制が導入されるに当たり、本県の研修体系を見直し、初任者研修・教職経験者研修等に続く基本研修として新設した研修。免許状更新講習としての性格も併せ持つ。

IV 社会教育・家庭教育

地域学校協働活動・教育振興運動の推進

・新型コロナウイルス感染症の影響により、地域学校協働活動は減少

	現状値 (H30)	R1	R2	R3
教育振興運動として計画的に取り組み ている地域活動件数【具体的推進方策指 標】	4,224件	4,408件	3,411件	3,429件

・コミュニティ・スクールの導入は進んでいるが、保護者や地域などへの周知が課題

コミュニティ・スクール設置（累計）	現状値 (H30)	R1	R2	R3
市町村数【具体的推進方策指標】	6市町村	6市町村	11市町村	17市町村
学校数（市町村立小中義務教育学校）※	30校	34校	60校	92校
学校数（県立学校）※	-	-	1校	8校

※ 岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課調べ

体験活動等の減少

・新型コロナウイルス感染症による休館・休所の影響で、県立社会教育施設の利用者は減少

入館者数	H30	R1	R2	R3
県立博物館	47,883人	47,239人	22,499人	28,292人
県立美術館	57,748人	382,433人	43,271人	69,526人

※ 岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課調べ

	現状値 (H29)	R1	R2	R3
県立社会教育施設で 「岩手」をテーマと した講座の受講者数 【具体的推進方策指 標】	850人	1,020人	623人	678人

V 参考資料

1 いわて県民計画(2019～2028)第1期政策推進プラン 幸福関連指標一覧表(学校教育関係)

指標名	単位	現状値 (H29)	実績値		
			R1	R2	R3
意欲を持って自ら進んで学ぼうとする児童生徒の割合	%	小 ㊦ 80.9	82.1	-	82.5
	%	中 ㊦ 77.2	78.4	-	85.4
授業で、自分の考えを深めたり広げたりしている児童生徒の割合	%	小 ㊦ 80.7	78.9	-	83.0
	%	中 ㊦ 80.0	77.8	-	83.5
人が困っているときは、進んで助けようと思う児童生徒の割合	%	小 ㊦ 66	69	69	68
	%	中 ㊦ 64	65	68	67
	%	高 ㊦ 57	49	-	62
自己肯定感を持つ児童生徒の割合	%	小 ㊦ 82.3	80.5	-	76.4
	%	中 ㊦ 76.9	72.6	-	76.2

指標名	単位	現状値 (H29)	実績値		
			R1	R2	R3
体力・運動能力が標準以上の児童生徒の割合	%	小男 73.6	73.1	-	68.9
	%	小女 82.9	82.2	-	79.1
	%	中男 77.7	75.7	-	74.8
	%	中女 91.3	90.0	-	88.8
特別支援学校が適切な指導・支援を行っていると感じる保護者の割合	%	-	62.0	60.8	63.0
高卒者の県内就職率	%	65.8	68.5	71.4	74.1
将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	%	小 ㊦ 86.5	84.6	-	82.1
	%	中 ㊦ 73.2	73.1	-	72.8

2 いわて県民計画(2019～2028)第1期政策推進プラン 幸福関連指標一覧表(社会教育・家庭教育関係)

指標名	単位	現状値 (H29)	実績値		
			R1	R2	R3
生涯学習に取り組んでいる人の割合	%	40.2	42.7	44.0	46.1

指標名	単位	現状値 (H29)	実績値		
			R1	R2	R3
国、県指定文化財件数	件	㊦ 565	568	572	574